

パブリックコメント意見募集の結果公表

第4期帯広市中心市街地活性化基本計画（原案）に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

寄せられたご意見等について検討した結果、第4期帯広市中心市街地活性化基本計画（原案）を次のとおり修正して策定することとしました。

【意見募集結果】

案 件 名	第4期帯広市中心市街地活性化基本計画（原案）		
募 集 期 間	令和6年11月27日（水）～令和6年12月26日（木）		
意 見 の 件 数 （意見提出者数）	11件（5人）		
意 見 の 取 り 扱 い	修正	案を修正するもの	1件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	3件
	参考	今後の参考とするもの	1件
	その他	意見として伺ったもの	6件
意 見 の 受 け 取 り	持参		人
	郵送		人
	ファクス		人
	電子メール		5人

【意見等の内容】

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
長崎屋、藤丸が閉店し、街に活気が無くなりました。 庶民的な場所を増やして、街に人が集まる様になって欲しいと思います。高齢者、若い世代は居場所が無くなり、つまらないと思います。これでは経済も回りません。	1	【既記載】 中心市街地に多様な人が訪れることは活性化につながる重要な要素の一つと考えており、50ページ（基本的な方針１の部分）に魅力的な目的地の形成などの必要性を記載しております。
1. 商業の再活性化 中心市街地の商業活動を復活させるため、以下の具体策を提案します。 1-1. 空き店舗の活用支援 ・空き店舗を短期レンタルスペースとして利用できる仕組みを整備し、小規模な事業者や若手起業家が店舗を試験的に運営しやすくします。 ・新事業開始への補助金や、地元特産品を活用したビジネスに対する税制優遇措置を拡充し、意欲的な起業家を支援します。 1-2. 個性的な専門店の誘致 ・地域外からも訪れたい専門店やブランド店舗を誘致し、中心市街地全体の魅力を向上させます。 ・地元商業者と連携し、地域特産品や食文化を活用した独自性の高い店舗を支援します。 1-3. 商店街全体の魅力向上 ・中心市街地を「テーマパーク型商業エリア」として再構築し、エリアごとに「食と農業」「アートと文化」などの特色を持たせます。 ・商業施設とイベントを連動させた企画（スタンプラリーや特典付きキャンペーン）を実施し、回遊性を高めます。 2. イベントの充実 イベントを通じてにぎわいを生み出すための施策を提案します。 2-1. 市民参加型イベントの強化 ・地元学校や団体と連携し、市民が主体となるマルシェや文化祭を定期開催します。 ・年間スケジュールを明確化し、「いつ訪れても楽しめる街」としての魅力を高めます。 2-2. 観光客向け特別イベントの企画 ・観光資源を活用し、「ばんえい競馬」や「アイヌ文化体験」を含む観光イベントを実施します。 ・春のガーデンフェスや冬のイルミネーションイベントなど、四季を感じられる特別イベントを充実させます。 2-3. 夜間イベントの推進 ・ナイトマーケットや音楽ライブなど、夜でも楽し	1	【その他】 中心市街地活性化には、中心市街地へ行きたい目的や機会をつくり、人々の交流によるにぎわいを生み出すことが重要であると認識しております。（47 ページ記載） なお、本計画は具体的な事業を計画内に位置付けず、別途「アクションリスト」を毎年度作成し、掲載していきます。（53 ページ記載） ご提案の内容については、ご意見として伺います。

めるイベントを定期開催します。 ・プロジェクションマッピングなど、デジタルアートを活用した街頭イベントを導入します。		
3. アクセス改善 中心市街地へのアクセスを改善するための施策を提案します。 3-1. 駐車場・駐輪場の整備 ・短時間利用可能な駐車場を増設し、無料または低価格で利用できる環境を整えます。 ・観光客や通勤者向けに安全で便利な駐輪場を整備します。 3-2. 無料シャトルバスの運行 ・郊外から中心市街地を結ぶ無料シャトルバスを運行し、主要な観光スポットや商業施設を経由するルートを設定します。 3-3. 歩行者環境の改善 ・広小路アーケード街を再整備し、雨風を防ぐだけでなく、美しいデザインや多言語対応の案内板を設置します。	1	【その他】 中心市街地の恒常的なにぎわいの創出には、誰もがアクセスしやすい便利で快適な交通環境づくりが重要であると認識しております。(50 ページ記載) なお、本計画は具体的な事業を計画内に位置付けず、別途「アクションリスト」を毎年度作成し、掲載していきます。(53 ページ記載) ご提案の内容については、ご意見として伺います。
中心市街地での定住を促し、日常的な活気を取り戻すための施策を提案します。 4-1. 若年層向け住宅の整備 ・若者や新婚家庭向けの手頃な価格の住宅を提供し、住みやすい環境を整備します。 ・子育て世帯向けの優遇政策や保育サービスの充実を図ります。 4-2. 高齢者向け施設の充実 ・高齢者が安心して暮らせるケア付き住宅を整備し、医療施設や福祉サービスとの連携を強化します。 4-3. 住環境の向上 ・街並みの美化やゴミのない清潔な環境づくり、防犯カメラの設置を通じて安全性を向上させます。 ・緑地や公園を整備し、住民がくつろげる空間を提供します。	1	【その他】 中心市街地の居住人口の更なる拡大を図ることは、中心市街地活性化につながる重要な要素のひとつと認識しております。(51 ページ記載) なお、本計画は具体的な事業を計画内に位置付けず、別途「アクションリスト」を毎年度作成し、掲載していきます。(53 ページ記載) ご提案の内容については、ご意見として伺います。
中心市街地を訪れたい場所にするための施策を提案します。 5-1. 歴史・文化を活かしたデザイン ・アイヌ文化や開拓時代の歴史を反映したアートやオブジェを設置し、街全体を観光資源としてデザインします。 ・観光客が歴史や文化を体感できるストーリー性のある空間づくりを進めます。 5-2. 街全体を体験型空間に再構築 ・AR(拡張現実)やVR(仮想現実)を活用し、新しい観光体験を提供します。	1	【その他】 計画の基本的な方針の1つを「人がつながり、誰もが行きたくなるまちづくり」とするなど、中心市街地が訪れたい場所となることが重要であると認識しております。(50 ページ記載) なお、本計画は具体的な事業を計画内に位置付けず、別途「アクションリスト」を毎年度作成し、掲載していきます。(53 ページ記載) ご提案の内容については、ご意見として伺います。

・四季折々のテーマ演出で、訪れるたびに新しい発見がある街を目指します。 5-3. 多世代が楽しめる施設の整備 ・子供向け遊び場を設置し、ファミリー層が集まりやすい環境を整備します。 ・高齢者向け憩いの場や、多世代が交流できる多目的カフェを設置します。		
15 ページ記載の時間帯別歩行者通行量ですが、昼間(8 時間)と夜間(3 時間)では合計時間が異なるため、パッと見たただけだと昼間の方が歩行者が多い印象を受けるグラフになってしまっております。1 時間あたりの平均で比較するなど、昼間と夜間をフラットに比較できるような形にすると良いと思います。	1	【修正】 ご指摘のグラフは、昼間及び夜間それぞれの歩行者通行量の年度ごとの比較を示す目的で掲載しているものでしたが、ご意見を踏まえ改めて検討した結果、掲載するグラフを「グラフ 1：昼間における、平日・休日別の歩行者通行量」、「グラフ 2：夜間における、平日・休日別の歩行者通行量」と修正します。
17 ページ記載の空き店舗数ですが、本文中には「空き店舗を利用した新事業・・・取り組みも進めています」とあります。その上で空き店舗数が増加しているということは、空き店舗の解消数(A)よりも空き店舗化数(B)の方が多いという認識でよろしいでしょうか？A+B だけではなく、A と B の両方を可視化して、取り組みの効果の見える化も行うと良いと思います。	1	【その他】 空き店舗数は解消数より発生数が上回れば増加するのはお見込のとおりです。 空き店舗を利用した新事業などにより、空き店舗が解消している一方で、新たに空き店舗となっているものもあります。 空き店舗数に関する調査は毎年度実施しており、「空き店舗数」、「営業店舗数」などを取りまとめ公表しております。
(無料)駐車場の有無は来街理由を決める大きな要因だと思っております。そのため 29 ページに記載されている通り、アクセスの良い駐車場の充実は特に優先度を上げて検討していくと良いと思います。	1	【既記載】 50 ページに記載のとおり、計画の基本的な方針の 1 つを「人がつながり、誰もが行きたくなるまちづくり」とし、人々が中心市街地へ行きたくなる目的・機会の創出のほか、アクセスしやすい便利で快適な交通環境づくりに取り組むと定めており、この項目には駐車場に関することを課題として包含しております。
38 ページ記載の「元気な中心市街地づくり促進事業」をはじめ、歩行者数や居住人口を増加させる取り組みはすでにいくつも行われているかと思えます。しかしながら、それぞれが実際にどれほどの効果を達成したか、数字での報告がないと評価も難しいかと思われます。施策・事務事業評価表のように、掲げた目標に対する進捗率をもって評価するよう見直すと良いと思います。	1	【その他】 第 3 期計画掲載事業については、年度ごとに進捗状況を来場者数や利用件数等の実績を含めとりまとめ、公表しているところですが、事業それぞれでの効果検証は困難なものです。 第 4 期計画には具体的な事業を位置付けず、別途作成する「アクションリスト」に掲載するため、本計画では個別事業について事業評価は行いません。 ご提案の内容については、ご意見として伺います。
11 月 26 日に「立地適正化計画の作成(コンパクト・プラス・ネットワークの推進)が帯広市 HP でも公表され機運が高まっていますが、中心市街地を実質的に活性化するためには、このような都市全域を見渡したマスタープランと連動する必要がある、総合計画、都市計画、交通政策などと連携することが重要だと考えます。 その上で、ますます人口減少と高齢化が進む今の時代においては、いかに中心市街地に市民を誘引するかが重要です。したがって、街づくりと交通政策の融合が必要で、その要となるのが様々なコンテンツと交通と節足拠点「ハブ」を設置していくことが必要と考えます。	1	【既記載】 42 ページに記載のとおり、本計画は市の総合計画や関連計画との整合性を図り策定するものです。 また、50 ページに記載のとおり、中心市街地が多くの人にとって行きたくなる場所となるためには、便利で快適な交通環境づくりが重要であると認識しております。

中心街の駐車場問題に関しての記載が少ないが、行政としてどのように対応するかをもう少し計画に盛り込むべきではないか。 新聞紙上、あるいは市議会答弁広報でも、駐車場問題が取り上げられ、市民の関心の高さがうかがえるのに、これに対する対応計画が記載されていない。 賑わいを創出するには、来街者を増やすことが最優先と考えるので、アクセスが容易になるような方策をもう少し示していただきたい。 駐車場問題は民間事業者の範疇であり行政が立ち入れない領域であるかもしれないが、街づくりの指針は行政が示すものとする。 あるいは、民間駐車場を含め、現状の駐車可能台数で事足りるというのであれば、そのような記述があれば良いのではないか。 この計画書では、行政が駐車場問題を認識していながら、最近の市民の関心・ニーズに応えていないような印象を受ける。	1	【参考】 ご意見のとおり、中心市街地のにぎわい創出には、公共交通や駐車場等を含む、アクセスしやすい便利で快適な交通環境づくりに取り組むことが重要であると認識しております。（50 ページ記載） 近年の大型商業施設の閉店等により、不便を感じている市民がいることは認識していますが、過去に実施した駐車場現況調査を踏まえますと、中心市街地における民間駐車場を含めた駐車可能台数は、充足しているものと考えております。 帯広市といたしましては、今後も中心市街地における駐車場の現状把握に努め、公共交通も含むアクセス利便性の向上に取り組む考えです。 なお、本計画は具体的な事業を計画内に位置付けず、別途「アクションリスト」を毎年度作成し、掲載していきます。（53 ページ記載）
--	----------	---

【案件の最終案】

別紙のとおり